

年 組 名前：



インターネット 正しい使い方は？

山梨県教育委員会が今年6月に県内小中高生約2600人に行ったインターネットの利用状況に関する調査の結果、インターネットに「依存傾向がある」とされた児童生徒は高校1～3年生が25.9%、中学1～3年生が18.7%、小学4～6年生が12.5%でした。県内でも依存している子どもたちがいることが分かりました。

インターネットで何をしているのか調べたところ、男女ともに多くの人が動画を見ているようです。また、男子はゲーム機やスマートフォンアプリでのオンラインゲーム、女子はSNS（交流サイト）を楽しむ傾向にあります。ただ、いずれも適切に使わなければトラブルにつながる可能性があります。

オンラインゲームは運営会社によるアップデート（更新）で新しい企画が頻繁に行わ

れ、やりこむほど自分のレベルが上がって達成感が得られるため、依存しやすいそうです。チームを作って対戦するものは、自分のタイミングでその日のゲームをやめることができないということも長時間使用につながる要因です。

お金を払うことで攻略しやすくなったり、限定アイテムがもらえたりする「課金」も問題になっており、親の知らないうちに大金を使うといった事例もあります。SNSと同様、ゲーム内のチャット機能で知り合った人と実際に会い、事件に巻き込まれる可能性もあるそうです。

夜遅くまでゲームをすることで翌日起きられなくなることや、授業中の居眠り、宿題忘れ、不登校など学校生活に影響が出ることも心配されます。

(2022年11月24日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと2面 1/2)

※記事を一部加工しています

問1

山梨県内の小中高生に行ったインターネット利用状況の調査で、「依存傾向がある」とされた児童生徒の率を教えてください。

・高校生：.....% ・中学生：.....% ・小学4～6年生：.....%

問2

夜遅くまでゲームをすることは、学校生活に、どのような影響がでると心配されていますか。

.....

年 組 名前：

なぜ **A** なに 家族と相談 ルール作ろう

県教育委員会はこのようなトラブルが起きないように、インターネットの適正利用を児童生徒や保護者に知ってもらうセミナーを小学校などで開いています。親子で1日の利用時間の上限を決めるなど、家庭でのルールづくりの参考にしてもらう目的です。

北杜市の武川小では10月中旬旬にセミナーが開かれ、専門家が児童と保護者にインターネットの長時間使用の危険性を説明しました。6年生の堀口佳音さんは「家族と相談しながらスマートフォンを楽しく使っていきたい」と話し、5年生の子を持つ母親は「家

で子どもとインターネットの危険性について話し合い、ルールを守れるようにしたい」と語っていました。

保坂一校長は「保護者の協力がなければ、学校だけでインターネットの危険から子どもを守るのは難しい」と話しています。この機会に親子でインターネット利用について話し合ってみてはいかがでしょうか。

〈秋田大揮〉

(2022年11月24日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと2面 2/2)

※記事を一部加工しています

問3

県教委は、インターネットでトラブルが起きないように、どのようなセミナーを開いていますか。

.....

問4

セミナーでは、「家族で相談してルールを作る」ことが大切と話しがありました。あなたが、インターネットを使う時に、注意していることを書いてください。

.....

.....

.....

.....